

令和6年
7月発行



ほうかつだより

地域包括支援センターは、久留米市が設置する高齢者のための相談窓口です。高齢者の介護や健康、福祉などについて主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師などの専門職が互いに連携を取り「チーム」として高齢者を支えます。地域包括支援センターは地域の皆様のお役に立ち、頼れる場所であることを目指しています。

地域包括支援センターって何をするとところなの？

①さまざまな相談ごと（総合相談）

高齢者の方やその家族、地域の気になる方の健康や福祉、介護、医療、生活に関する悩みや困りごとの相談に対応することや、適切な機関につなぐなど、必要な支援をします。



②介護や健康のこと

事業対象者や要支援1・2の方を対象に介護保険サービス等の調整を行います。また、介護予防教室や地域のサロン等の情報紹介、介護予防に関する出前講座等を行っています。



③権利を守ること

- ・認知症等のため財産管理や契約について不安がある方へ成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用を支援します。
- ・虐待の早期発見や深刻化を防ぐための対応を行います。
- ・消費者被害に関する情報提供や被害にあった場合は警察や消費生活センター等と協力して対応します。



④住み慣れた地域で暮らし続けるために（包括的継続的ケアマネジメント）

- ・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な関係機関と連携体制づくりを進めます。
- ・地域のケアマネジャーが円滑に仕事ができるように支援を行います。



ご相談はお住いの地域を担当する地域包括支援センターまでお願いします（裏面記載）



地域包括支援センターは、地域の皆様や関係機関との協働による高齢者の支援や専門的な地域課題を解決するためのネットワークづくりを目指しています。
次回、9月号では『地域包括支援センターにおける介護予防・自立支援に関する業務』についてお伝えします。



「これって認知症かも？」

くるめ子さんの事例を基に認知症のサインとは何かをみていきます。

～気づきたい認知症のサイン例～



くるめ子さん
80歳

- 一人暮らし。
- 夫は亡くなり、長女と長男は県外在住。年に数回帰省する。
- 社会的で以前は地域のボランティアにも参加していたが、入院をきっかけに地域活動に参加しなくなる。
- 知人友人が時折様子を見に来てくれる。
- 買い物は近くのスーパー等にシルバーカーで時々行っている。

暑くなってきたのに、厚手のコートを着て買い物へ行っているな...

サイン



近隣住民

些細なことで怒りっぽくなった気がする...



店員

買い物によく来ているけど、財布の中は小銭がたくさん入っていてびっくりした...

サイン

気になって時々様子を見に行っている時に、同じ話を何度もされるんだけど...

サイン



民生委員



～サインに気づいたら～
気になる方がおられた際は
地域包括支援センターへご相談ください！



認知症の人を在宅で支援するには、一人で抱え込まず、仲間や相談できる人を見つけることが大切です。各種サービスや相談窓口を上手に利用することで本人の認知症の進行を予防し、生活リズムを整えることや介護負担の軽減にも繋がります。受診や具体的に利用できるサービス等については地域包括支援センターへご相談ください。